

園」の役割を活用し、支援情報交換や提供など、母親への不安解消や助言等の具体策はどのように考えているか。

市長 「認定こども園」の目的は、小学校就学前の子どもに対する教育・保育、保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進することである。運営団体に

対しては、目的に沿って、在宅での子育て家庭が身近な地域で必要とする事業を推進していただきたいと考えている。

質問 児童館内に昼食できる場所を。

市長 実施場所、時間を特定し、実施していきたい。

はしもと ひろたか
橋本 弘山 議員
(新政会)



- ◇スポーツセンター利用時間編成
- ◇住宅用火災警報器の設置促進
- ◇自主防災組織の防災力向上

今後のスポーツセンターの利用時間編成について

質問 総合型地域スポーツクラブの進捗状況は。

教育長 昨年6月、設立準備委員会が設立され、55回ほどの活動をしている。現在、今年6月の設立を目標に、会員の募集方法や会費徴収方法等、具体的な検討が進められている。

質問 今後、総合型地域スポーツクラブと既存のスポーツ団体をどのように協働させながら取り組んでいくのか。

教育長 それぞれの活動場所の確保な

どの環境づくりが求められる。プログラムは、既存スポーツ団体の活動場所との重複を避け、実施できるよう配慮されている。また、スポーツセンター以外の各種施設の利用を推進していくので、活動場所の確保に混乱はないと認識するが、設立後の状況を見ながら、スポーツセンター利用方法を検討していく。

住宅用火災警報器の設置促進について

質問 羽村市内の普及率は。

市長 今年2月末現在で、新築住宅440世帯、既存住宅で1千455世帯、

教育長 平成20年度から全小学校に特別支援教育支援員を配置し、きめ細かな指導を行う。小作台小にも日本語指導の教員が配置される。現在、授業中の通訳や日本語指導教室に指導員を雇用しているが、さらに充実させていく。

「わかりやすい予算書」について

質問 北海道二セコ町のように、独自の「わかりやすい予算書」を作成し、市民に配布してはどうか。

市長 従来から発行している予算説明書を、今後も創意・工夫を凝らし、よりわかりやすくしていきたい。

※TT制度：チームティーチング。複数の教師による協力的な指導。

全体で1千895世帯が設置している。普及率は約8%である。

質問 高齢者世帯など、自分で設置できない住民に対するサポートは。

市長 販売業者に設置まで含む対応など適切なサポートを行うよう、福生消防署に一層の指導を要請していく。また、普及啓発についても、広報活動をさらに強化していくとともに、消防署の普及促進活動を支援していく。

自主防災組織の防災力の向上について

質問 今後の防災力向上の施策は。

市長 「地域防災計画行動マニュアル」を「行政編」と「自主防災組織編」に分け、平成20年度に作成する予定である。



▲スポーツセンターを利用する市民



▲健康増進に励む市民（富士見公園）

高齢者医療制度について
質問 今年4月から75歳以上の方を対象に「後期高齢者医療制度」がスタートする。70歳から74歳までの高齢者の窓口負担の凍結や、扶養家族で従来保険料を支払う必要のなかった後期高齢者の保険料免除など、激変緩和策が取ら

れるが、今後の見通しは。
市長 今後、いろいろな観点から議論されると思われるので、その推移を注視していく。
質問 東京都後期高齢者医療広域連合は、区市町村の負担で低所得者対策を行った。これに対する市の考えは。
市長 市の一般財源を投入することは必要な措置であると考えている。
質問 今までの国民健康保険税と保険料が比較できる市民向けの資料は考えているか。
市長 単純に比較することはできないが、目安となる資料をお示ししていくことが必要と考えている。
質問 「後期高齢者医療制度」については、きめ細かい周知が必要と考えるが。
市長 対象者に向け、3月と4月に説明会を開催する。希望があれば、老人クラブ等に職員を派遣し、説明していきたい。

かわさき あきお
川崎 明夫 議員
 (市民クラブ)



◇高齢者医療制度について
 ◇特定健診・特定保健指導等への対応

はむらん・自転車等の利用促進のための環境整備を

質問 道路整備計画の中に自転車専用レーンを導入してはどうか。

市長 専用レーンは幅員の関係で難しい。しかし、動物公園通りは「自転車歩行者道」を整備している。

質問 市内や公共施設間での無料の自転車貸し出し事業等、放置自転車の羽村らしい活用方法を考えたかどうか。

市長 先進事例を参考に今後研究する。
質問 はむらんの利便性の向上として何か考えているか。

市長 双葉町三丁目方面への羽村東コースの延伸、公立福生病院への往復路線の本数増加、バス停へのベンチの設置などについて、運営推進懇談会で検討していただく。

児童福祉の充実について

質問 子育て中の方のために、ゆとろぎの保育室、コミュニティセンターの保育室および地域会館の開放、公共施設内

いちかわ えいこ
市川 英子 議員
 (日本共産党)



◇はむらん・自転車等の利用促進
 ◇児童福祉の充実について
 ◇羽村駅西口区画整理事業について



▲市役所通りを走るはむらん

に遊び場の設置をすべきではないか。
市長 現段階で無料で開放することは考えていない。公共施設での遊び場の設置はスペースの確保が難しい。
質問 市は「認定こども園」を増やすのではなく、公立保育園充実のため、保育園の建設を行い、正職員保育士の採用

特定健康診査・特定保健指導への対応について

質問 75歳以上の後期高齢者の健診はどのようになるのか。

市長 市内の後期高齢者は、市が受託団体となり実施する。これまでの基本健康診査と同様に、市内の医療機関で

実施できるよう準備を進めている。

質問 特定保健指導に必要な保健師や管理栄養士等の実施体制は。

市長 保健センターの保健師と連携しながら、専門スタッフを有する事業者に委託する考えである。

を増やすべきと考えるがどうか。

市長 認定こども園など多様な施策を展開する中で、新たに保育園が必要であれば、公・私立にとらわれず整備する。

質問 新1年生については、全クラスに補助員の配置をすべきではないか。

教育長 小学校へ学習サポーターと特

別支援教育支援員を各1人配置し、特に新1年生は重視して対応していく。

羽村駅西口区画整理事業について

質問 西口区画整理事業は白紙に。

市長 白紙に戻す考えはないが、これからも関係者と話し合いを行いながら進めていく。

にしかわ みさほ 議員
西川美佐保 (公明党)



◇放課後子ども教室事業の推進を

◇高齢者の活動支援と健康支援を

◇羽村の観光とまちづくり

放課後子ども教室事業の推進を

質問 学童クラブと放課後子ども教室は、その設立の目的も対象児童も違い、それぞれ存在できると考えるが市の見解を伺う。

市長 放課後子ども教室を学童クラブと別の場所で実施し、相互の連携した運営が望ましいと考える。

質問 放課後子ども教室は、その目的と学童クラブ待機児解消の観点から、週5日開催が望ましいと考えるが。

市長 開催日数は学童クラブの実施日数に近づけることが望ましいと考える。

質問 放課後の事業であるのに、空き教室がないとは考えられないが。

市長 余裕教室はないと聞いているが、放課後等の空き時間を使って一時的に使用するなど、教育委員会と調整する。

高齢者の活動支援と健康支援について

質問 市民活動の拠点とともにシニア活動支援センターの検討もしてはどうか。

市長 市民活動センターの運営主体である社会福祉協議会と調整していく。

質問 町内会館のバリアフリー化は今後どのように取り組んでいくのか。

市長 年次計画に基づき、バリアフリー

の視点を取り入れた改修を実施する。

質問 肺炎が高齢者の死因の上位である。予防効果の高い「肺炎球菌ワクチン」接種に公費助成をしては。

市長 国や東京都の動向など踏まえ、研究していきたい。

羽村の観光とまちづくりについて

質問 羽村の現状のイメージに合わせ、市の花は「チューリップ」、市の木は「桜の木」としてはどうか。

市長 市民の中から機運が盛り上がり、検討していく方向が望ましい。

質問 チューリップや桜にちなんだ菓子を一般公募し、コンテストをしては。

市長 商工会や観光協会に提案する。



▲満開のチューリップ(根がらみ前水田)



▲羽村駅西口付近

西口区画整理の換地案と補償について
 供覧で示された図面は機械的で人の心を感じない。内容を理解されていない人もまだ多いので基本的なことを伺う。

質問 仮換地案はすべて照応しているか。
市長 地区全域の換地については、おむね照応していると考えている。

質問 曳家と再築の補償の金額的差は。
市長 一般的には曳家補償より再築補償の方が割高になる。

質問 地下埋設物撤去と原状回復は。
市長 現道に埋設されている管類や道路工作物等は撤去し、宅地造成を行う。

質問 竹木・土石はどうなるか。
市長 竹木はおおむね幹回り1.5m以下は原則移植補償となり、土石は重量により移設補償となる。

質問 借地・借家権者への配慮は。
市長 現状において借地・借家権設定の場合は事実関係に合わせて対応する。

質問 日照への配慮をどう納得させるか。
市長 個々の意見、要望を踏まえ、必要に応じ見直しを行う考えである。

質問 西口の市民の利便性が向上する公共施設は何を予定しているか。
市長 道路・公園・緑地を確保する。新たに公共施設は予定していない。

質問 仮店舗の用意と営業休止の補償、仮住居の供給はどうするか。

なかね やすお
中根 康雄 議員
 (羽村クラブ)



◇西口区画整理換地案と補償は
 ◇生涯学習施設の運営について

つゆき りょういち
露木 諒一 議員
 (公明党)



◇小・中一貫教育について
 ◇協働化テストについて
 ◇事務事業評価について
 ◇公会計制度改革について

小・中一貫教育について
質問 羽村市の小・中一貫教育構想が検討されているが、開校予定のモデル校はどこか伺う。
教育長 検討委員会で、武蔵野小学校と羽村第三中学校をモデル校として開校することが望ましいと提案された。

質問 学区はどうなるのか。
教育長 現在、富士見小学校と松林小学校の学区の一部が、羽村第三中学校の学区となつている。検討委員会では、当分の間、この区域の児童・生徒を小・中一貫教育校へ入学できるようにするとともに、希望がある場合は、定数を設けて市内全域からも通学可能とすることが望ましいとの意見があった。

協働化テストについて
質問 佐賀県は、「自治体版市場化テスト」や「事業仕分け」などの要素を取り入れた「協働化テスト」を創設している。市長の見解は。
市長 佐賀県方式の持つ、客観的な評価



▲現在の財務会計システム

価と提案・参画による能動的な事業主体の選択という部分は羽村市では構築されていないので、参考とさせていた、たく。

事務事業評価について
質問 多摩市では事業カルテ、事業診断書等、事業別に資料を議会に出している。羽村市も決算特別委員会前等に